

としょかん 図書館だより 6月号

宇都宮市立今泉小学校
令和3年 6月



だんだんと、雨の日が増えてきましたね。雨が降っていて外で遊べない日こそ、読書をしてみましょう。雨の音を聞きながらする読書は、普段とは違った雰囲気を楽しむことができますよ。

梅雨の晴れ間には、元気に外で遊びましょう。



学級文庫の本を整理しました！

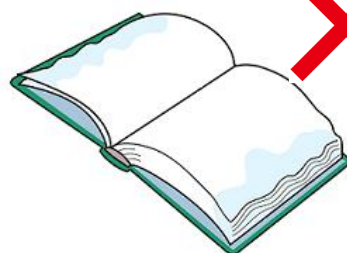
皆さん、学級文庫の本を読んでいますか？



図書委員会の人たちにお手伝いしてもらって、各クラスの学級文庫の本を整理しました。また、背表紙がボロボロだったり、ページが破けてしまっていたりする本は、修理をするために預かりました。壊れている本を修理するのに時間がかかるかもしれませんが、本が戻ってくるのを楽しみに待っていてください。

本は、水にとっても弱いのです。少し濡れるだけでも、本にとっては大きなダメージになります。

雨の日は、本が濡れないように特に注意してください。



6月におすすめの本の紹介



☆みずたまのたび アンヌ クロザ // さくこだま しおり // やく

ボウルのそこに、ひとつぶのこったみずたま。おひさまのおかげで、空にまいあがり、雲にのり、雨になって、また、土の中へ。そして、川から海へ……。 “みずたま”の大冒険！



☆天気ふしぎえほん 斉田 季実治 // 監修

私たちの生活に身近である天気。しかし、なぜ雨が降るのか、なぜ風が吹くのか、なぜ雪が降るのか、といった簡単そうなことも、それを人に説明するのはかなり難しいものです。ましてや、子どもにとってはなおさらです。

この本は、雨や風といった天気の基本のことから、天気予報や天気図の見方まで、天気のことがイラストでやさしく理解できるようになっています。



☆雨ふる本屋 日向 理恵子 // 作 吉田 尚令 // 絵

おつかいの帰り、ルウ子は、カタツムリにさそわれて“雨ふる本屋”へ。出迎えてくれたのは、摩訶不思議な本と、ドードー鳥の店主と助手の舞々子、そして妖精たち。ドードー鳥の店主が、ここにある本は、人間に忘れられた物語に、雨をかけてできあがるという……。

